

パランティア テクノロジーズ A(PLTR)

【セクター】 ソフトウェア

【市場】 NYSE

【企業概要】

2003年に創業したビッグデータを分析するためのソフトウェアを提供する企業です。米国のテロ対策当局や国防総省で使用されている「Palantir Gotham (ゴッサム)」、組織のデータを一元的に扱うためのオペレーティングシステムを提供する「Palantir Foundry (ファウンドリー)」のプラットフォームを擁します。米国政府を中心とする政府向けの売上が55%を占め、45%が民間企業向けです(2023年12月期)。2020年9月に新規上場しています。

【業績】 (単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース)

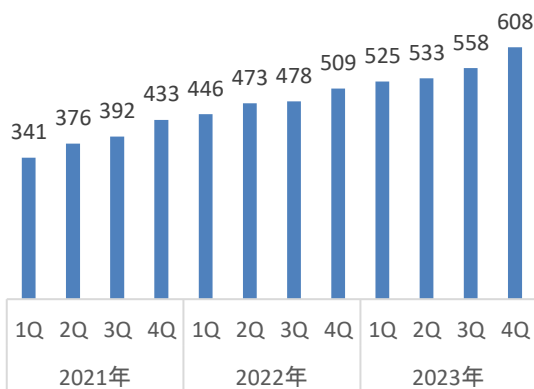
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
22.12期	1,906	135	0.06	0.00	1.2	-15.4	76.3
23.12期	2,225	572	0.25	0.00	1.6	6.9	78.7
24.12期(予)	2,671	751	0.33	0.00	1.9	16.3	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

(出所) BloombergのデータよりSBI証券作成

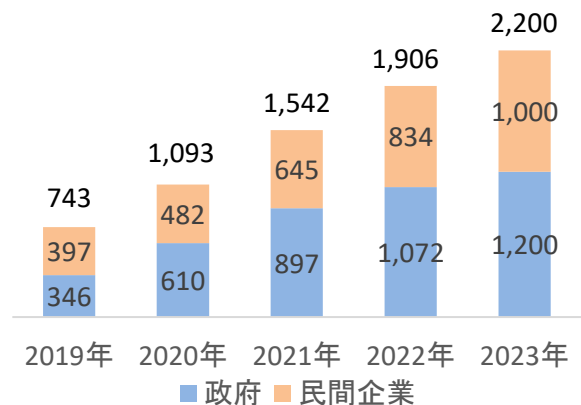
【主要指標】

四半期売上の推移(百万ドル)



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

顧客属性別の売上(百万ドル)



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

新型コロナのパンデミックによって接触履歴の追跡やサプライチェーンの分析などの用途が広がったことから、2020年から2021年にかけて売上成長や新規顧客獲得で追い風を受けました。このためパンデミックの反動減が出る可能性が警戒されていましたが、2022年は順調に拡大しました。さらに、2023年に入ってから人工知能(AI)向けに需要が急拡大する兆しがみられます。AIのトレーニングには大量のデータを使う必要があることから、同社ソフトウェアの応用範囲が広がっているようです。拡大する需要に対して「Palantir AIP (Artificial Intelligence Platform) ブートキャンプ」(プラットフォームの使い方を説明するトレーニングセッション)を企業向けに実施して、顧客需要の取り込みに努めています。

【見通し・注目点】

10-12月期の売上は608百万ドルで前年同期比20%増、調整後EPSは0.08ドル(前年同期は0.04ドル)で市場予想を6%上回りました。民間企業向けが前年同期比32%増と売上をけん引しました。特に米国の民間企業向けが同70%増、7-9月期比でも12%増と好調です。昨年10月から「Palantir AIPブートキャンプ」を465の企業/組織で560回以上実施しており、「需要は爆発的でどう対応してよかわからないほどだ」と経営陣はコメントしています。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。